

平成30年度 公益財団法人山梨県体育協会事業報告書

事業報告

事業概要

本協会は、県民のスポーツニーズを的確にとらえ、県民一人ひとりがスポーツに親しめるよう、スポーツの振興を図っていく公益財団法人としての使命がある。このため「山梨県体育協会スポーツ推進計画」に基づき、加盟団体との連携を一層強化しながら「体育協会の運営」、「スポーツの推進」、「利用環境・効率の向上」を重点に次の事業を行った。

事業実施状況

I 体育協会の運営

1 理事会、評議員会等の運営

- | | | |
|-------------|---------------|---------------------|
| (1)理事会 | 第1回(通常) | 平成30年 6月 5日(火) |
| | 第1回(臨時) | 平成30年 6月21日(木) |
| | 第2回(通常) | 平成30年 8月 2日(木) |
| | 第2回(臨時) | 平成30年11月 9日(金) |
| | 第3回(通常) | 平成31年 3月14日(木) |
| (2)評議員会 | 定 時 | 平成30年 6月21日(木) |
| | 第1回(臨時) | 平成30年 8月27日(月) |
| | 第2回(臨時) | 平成30年 9月 7日(金) |
| | 第3回(臨時) | 平成31年 3月22日(金) |
| (3)総務委員会 | 第1回 | 平成30年 6月 1日(金) |
| | 第2回 | 平成30年 7月31日(火) |
| | 第3回 | 平成31年 3月 8日(金) |
| (4)加盟団体関係会議 | | |
| | 平成30年4月11日(水) | 加盟競技団体・学校体育団体理事長会議 |
| | 平成30年4月11日(水) | 市町村体育協会事務局長・事務担当者会議 |

2 体育協会創立記念事業

本協会は発足以来90周年となったことから、これまでの歩みを振り返り、今後の本協会の更なる発展に向けて記念事業を行った。

- | | | |
|---------------------------|----------------|--------------------------------|
| (1)創立90周年記念式典 | 平成30年11月23日(金) | 参加者数 300人 |
| (2)功労者表彰 | 平成30年11月23日(金) | 功労表彰者186人、1団体
感謝状贈呈 5人、19団体 |
| (3)「やまなし体協創立90周年記念特別号」の発刊 | | 発刊部数 1,000部 |

3 事務局の運営

(1)本協会が実施する事業推進のため、自主財源の確保に努めた。

ア 賛助会員の加入募集

イ 寄附金(免税寄附金)の募集及び制度の活用促進

(2)総合的人材育成システムの運用

「人材育成基本方針」に基づき、職員の資質向上のため、研修会の開催や各種講習会及び資格取得研修への参加等、総合的な人材育成を行うとともに、職員倫理やコンプライアンスの徹底、向上を図った。

(公益目的事業)

Ⅱ スポーツの推進

1 専門委員会の開催

スポーツの推進を図る上で必要な事項について検討するため、専門委員会を開催した。

(1) スポーツ振興委員会	第1回	平成30年 6月29日(金)
	第2回	平成30年11月21日(水)
	第3回	平成31年 3月 6日(水)
(2) 広報委員会	第1回	平成30年 5月15日(火)
	第2回	平成30年11月13日(火)
	第3回	平成31年 1月30日(水)
	第4回	平成31年 3月 5日(火)
(3) スポーツ医・科学委員会	第1回	平成30年 7月19日(木)
	第2回	平成30年11月 8日(木)
	第3回	平成31年 3月 7日(木)
(4) 境川自転車競技場運営委員会	第1回	平成30年 5月 7日(月)
	第2回	平成31年 3月 4日(月)
(5) スポーツ少年団常任委員会	第1回	平成30年 5月17日(木)
	第2回	平成30年 6月28日(木)
	第3回	平成30年10月11日(木)
	第4回	平成31年 2月28日(木)

2 子どものスポーツ機会の充実

(1) スポーツ少年団の育成

ア スポーツ少年団組織の活性化

スポーツ少年団組織の活性化を図るため、理念と意義の浸透、指導者養成と資質の向上、幼児加入に対する取り組みについて、内容、方法を検討した。

イ 団員交流の促進

特定の種目に偏らず、さまざまなスポーツを体験させ運動感覚を養うとともに、野外活動や文化活動等をおして創造性や協調性を育むことを目的に、各種大会の開催及び助成を行うとともに、各種中央大会への団員及び指導者の派遣を行った。

(ア) 県内交流事業

a 第40回山梨県スポーツ少年大会の開催

平成30年8月4日(土)、5日(日) 八ヶ岳少年自然の家

参加団員22人 指導者2人

b 第11回山梨県スポーツ少年団フェスティバルの開催

平成30年4月7日(土) 小瀬スポーツ公園 体育館

参加団員201人

- c 第37回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会予選会の開催
 - バドミントン 平成30年6月10日(日) 参加団員26人
 - 空手道 平成30年6月10日(日) 参加団員59人
 - 軟式野球 平成30年6月16日(土)・17日(日) 参加団:16チーム
 - ミニバスケットボール 平成30年6月10日(日)・17日(日) 参加団:32チーム
 - バレーボール 平成30年5月20日(日)・27日(日) 参加団:41チーム
- d 全国スポーツ少年団競技別交流大会予選会の開催
 - バレーボール 平成30年11月4日(日) 参加団:6チーム
 - 剣道 平成30年12月1日(土) 参加団員151人

(イ) 県外交流事業

- a 第49回関東ブロックスポーツ少年大会の団員・指導者の派遣
 - 平成30年8月10日(金)から12日(日) 群馬県国立赤城青少年交流の家
 - 派遣:団員2人 指導者1人
- b 第56回全国スポーツ少年大会への団員・指導者の派遣
 - 平成30年8月2日(木)から5日(日) 茨城県立白浜少年自然の家
 - 派遣:団員3人 指導者1人
- c 第37回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会の開催・派遣
 - ・総合開会式 平成30年7月27日(金) 小瀬スポーツ公園武道館
 - 参加者:役員57人 団員642人 指導者148人 計847人
 - ・軟式野球
 - 平成30年7月21日(土)から22日(日) 山梨県
 - 参加:団員20人 指導者4人
 - ・バレーボール・ミニバスケットボール・バドミントン・空手道
 - 平成30年7月27日(金)から29日(日) 山梨県
 - 参加:団員114人 指導者24人
- d 全国スポーツ少年団競技別交流大会への派遣
 - ・第41回剣道交流大会
 - 平成31年3月27日(水)から29日(金) 山口県
 - 派遣:団員7人 指導者1人
 - ・第16回バレーボール交流大会
 - 平成31年3月28日(木)から31日(日) 大分県
 - 派遣:団員12人 指導者2人

ウ 市町村スポーツ少年団の組織強化

スポーツ少年団組織の指導体制の強化と組織の資質向上を目指し、その機能を充実させるため、団員交流や単位団の活性化を図った。

(ア) スポーツ少年団市町村事務担当者会議の開催 平成31年2月19日(火)

スポーツ少年団の理念と意義や単位団の活動のあり方等の理解を深めてもらうとともに、各市町村の課題や情報を共有することによる連携強化を図るため、担当者会議を開催した。

(イ) 県内スポーツ少年団交流事業への助成

県内市町村スポーツ少年団において団員の交流を図る事業を助成した。

(ウ) 県外スポーツ少年団交流事業への助成

近隣の県外団員との交流を促進し、団活動の活発化を図る事業に助成した。

(エ) 母集団育成事業への助成

単位団を支える”母体となる集団”の育成を図る事業に助成した。

(オ) 体力テスト事業への助成

自己の体力を把握し、健康管理や体力づくりを促進する事業に助成した。

(カ) 指導者育成事業の委託

指導者の資質向上並びに指導者組織の整備拡充を図る事業を委託した。

(2) スポーツの巡回指導

子ども達が身体活動の持つ楽しさや成功体験を経験することにより、将来的な スポーツへの可能性を広げられる事業となるようモデル事業を4回実施した。また、平成 31 年度から本格実施できるよう指導スキルの向上やマニュアル作成に取り組んだ。

3 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

(1) スポーツ大会の開催

ア 山梨県体育祭り

県民一人ひとりがスポーツに親しみ、豊かなスポーツライフの創造と地域のスポーツ振興を図り、明るく豊かで活力あるふるさとづくりを目的に開催した。

(ア) 平成30年度実行委員会総会の開催

(第71回夏秋季大会・第72回冬季大会)

平成30年4月24日(火)

(イ) 第71回夏季大会(参加監督・選手743人)

カヌー競技 平成30年5月27日(日) 精進湖カヌー競技場

ボート競技 平成30年6月16日(土) 河口湖漕艇場

セーリング競技 平成30年6月17日(日) 山中湖村ヨットハーバー沖

少林寺拳法競技 平成30年7月 8日(日) 小瀬スポーツ公園武道館

水泳競技 平成30年8月19日(日) 小瀬スポーツ公園水泳場

クレール射撃競技 平成30年8月26日(日) 下部射撃場

(ウ) 第71回秋季大会(参加監督・選手7, 712人)

組合せ抽選会 平成30年7月23日(月)

中心会期(41競技)平成30年9月15日(土)・16日(日)・23日(日)

小瀬スポーツ公園他

総合開会式 平成30年9月15日(土) 小瀬スポーツ公園武道館

総合閉会式 平成30年9月23日(日) 小瀬スポーツ公園武道館

(エ) 第72回冬季大会(参加監督・選手388人)

スケート競技(フィギュア) 平成30年12月16日(日) 小瀬スポーツ公園アイスアリーナ

スケート競技(スピード) 平成31年2月11日(月) 富士急ハイランドセイコオーバル

スキー競技 平成31年3月17日(日) サンメドウズ清里スキー場

アイスホッケー競技 平成31年3月23日(土)・24日(日)

小瀬スポーツ公園アイスアリーナ

イ 山梨県スポーツ・レクリエーション祭

「第1回全国スポーツ・レクリエーション祭」の開催を記念して、県民が気軽に参加でき、スポーツ・レクリエーションを楽しみながら、交流を深める場となることを目的に開催した。

(ア) 平成30年度実行委員会総会の開催

平成30年4月9日(月)

(イ) 第30回山梨県スポーツ・レクリエーション祭

平成30年5月12日(土)、13日(日)、19日(土)、20日(日)、27日(日)、
6月10日(日)

マスターズ陸上競技など19種目 2協賛種目 参加選手4,565人

ウ 第55回県一周駅伝競走大会

スポーツ県やまなし宣言記念事業の一環として、県内各地区の代表チームによる県一周駅伝競走大会を開催し、スポーツの普及啓蒙を図った。

平成30年12月1日(土)から2日(日) 参加17チーム

(2) 参加機会の充実

ア スクールの開催

(ア) スポーツ健康づくり教室

生涯スポーツの必要性及び継続して行うことの大切さを理解してもらえるよう、スポーツや運動をする機会を提供し、サークル活動等による自主的な活動への発展を促し、スポーツライフを支援した。

小瀬スポーツ公園 教室数 96 参加者数 6,820人

富士北麓公園 教室数 11 参加者数 249人

(イ) トレーニング室利用者講習・実技指導

a 利用者講習会

トレーニング室利用者を対象に、安全に利用してもらうための講習会を行い利用者証を発行した。

利用者講習会受講者数 4,821人

b 体質改善プログラムの提供

メタボリックシンドローム改善の為、体組成器を用い、筋・脂肪割合、体組成成分、メタボリック情報など10項目について評価を行い、それに基づいて適切な運動プログラムを提供した。

実施者数 1,534人

c 実技指導

利用者の目的に応じたトレーニングメニューを提供するとともに、機器の効果的な使用方法を指導した。

実技指導実施者 13,795人

(ウ) 軽スポーツの普及

山梨県レクリエーション協会と連携し、家族や地域の人たちの絆を深めるきっかけづくりに繋がる軽スポーツやニュースポーツを体験できる場を提供した。また、ルール解説などをまとめたガイドブックを作成した。

イ スポーツフェスティバルの開催

各年齢層に応じたスポーツを楽しむ機会やふれあいの場を提供し、スポーツの楽しさと爽

快感を体験するとともに、スポーツへの興味や関心を高め、スポーツを実践する動機づけにした。なお、オリンピック・パラリンピック種目の中で、体験機会の少ない競技種目を紹介、体験することを目的とした「キッズ トライ スポーツ」を開催した。

さらに、県民のスポーツへの関心、興味、参加を促すため、杉山愛氏指導によるテニス教室「Premium Tennis Lesson」、浅田真央氏指導によるスケート教室「Premium Skating Lesson」、小椋久美子氏指導によるバトミントン教室「プレミアム バトミントン レッスン In Kose」を開催した。

小瀬スポーツ公園 実施イベント日数 17日 参加者数 3,781人

富士北麓公園 実施イベント日数 7日 参加者数 932人

ウ セミナーの開催

(ア) スポーツ医・科学セミナー

国体強化選手、指導者及びスポーツ愛好者等を対象に、スポーツ医・科学委員会と連携し、健康の保持増進や体力づくり、競技力の向上等を目的としたスポーツ医学やスポーツ科学のセミナーを開催した。

(イ) 健康・体力づくりセミナー

スポーツを愛好している一般の人たちを対象に、身近なスポーツの技術・技能の紹介や基礎的な知識を提供するセミナーを開催した。

第1回 じっくり「ストレッチ」を学ぶ

平成30年5月11日(金) 参加者数 11人

第2回 ダイエットの基本は正しい栄養知識から

平成30年6月15日(金) 参加者数 7人

第3回 スポーツと歯の重要性

平成30年7月13日(金) 参加者数 3人

(3) 地域スポーツの推進

ア 高齢者向け体力測定

活力ある超高齢化社会を目指し、身体運動の基本となる歩行能力評価と運動指導をセットにした運動プログラムを提供した。平成31年度の本格実施に向けてモデル事業として笛吹市長寿介護課が実施している事業(百歳体操)に合わせて実施した。

イ 指導者派遣

地域・職場・サークル等が行うスポーツ活動を支援するため、要望に応じ指導者を派遣し、健康・体力づくりの指導を行った。

指導者派遣 33回 参加者数 1,304人

ウ 軽スポーツ用具の貸出

地域・職場・サークル等が行うスポーツ活動に対して、軽スポーツ用具の貸し出しを行った。

小瀬スポーツ公園 貸出回数 248回 延利用者数 25,454人

富士北麓公園 貸出回数 49回 延利用者数 1,244人

(4) 障がい者スポーツの推進

専門的知識やノウハウなどの情報を有する山梨県障害者スポーツ協会のほか、各専門関係団体と連携し、障がい者と健常者が共に参加できるイベントとして、3on3大会とカーリング大会を開催した。

4 競技スポーツの推進

(1) 競技力の向上

本県選手が国民体育大会や各種大会等において優秀な成績を収めることができるよう競技力の向上を図るとともに、県民のスポーツへの関心を高める事業を実施した。

ア 競技力向上対策本部の運営

(ア) 本部会議(年4回)

平成30年6月28日(木)、9月6日(木)、11月8日(木)、平成31年3月7日(木)

(イ) 理事長、事務局長、主任強化コーチ会議(年3回)

国体出場競技団体の理事長、事務局長、主任強化コーチ等に対し、競技力向上に関する説明会や研修会を実施した。

平成30年5月23日(水)、11月13日(火)、平成31年3月12日(火)

(ウ) 国体派遣担当者・事務担当者会議

国体派遣担当者・事務担当者等に対し、国体に関する説明会を実施した。

平成30年7月11日(水)

(エ) 競技団体個別会議

対策本部委員と競技団体競技力担当者が面談を行い、今後の課題、方針などの意見交換を行った。

冬季競技 …平成30年7月24日(火)、12月11日(火)

本国体競技…平成31年1月21日(月)・22日(火)・23日(水)・24日(木)

イ 一貫指導体制の確立

(ア) ジュニアアスリート・トータルサポート事業

・山梨県内の競技団体に対して、指導者の育成・強化を図る事業、及び優秀なジュニアアスリートを発掘し、中学生、高校生までの長期的計画により組織的に育成する事業に助成した。

・東京オリンピックに出場する可能性が高い選手が、県内ジュニア選手及び指導者を対象に講習会を行い、県内選手・指導者の競技力向上及び指導力向上を図るため、その実施に係る経費を助成した。

・日本スポーツ協会が主催する「ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト」のウエイトリフティング競技に参画し、全国の有能なジュニアタレントに対して合宿等を開催した。

ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト実行委員会

平成30年 7月19日(木) ベルクラシック甲府

平成30年12月20日(木) ホテルやまなみ

平成31年 3月14日(木) 甲府富士屋ホテル

拠点県合宿 山梨県立日川高等学校ウエイトリフティング場

平成30年5月3日(木)から5日(土)、平成30年7月27日(金)から29日(日)

平成30年10月13日(土)から14日(日)、平成30年12月26日(水)から29日(土)

平成31年2月9日(土)から11日(月)

研修会 山梨県立日川高等学校

ジュニア研修会 平成30年12月26日(水)

指導者研修会 平成30年12月28日(金)

保護者研修会 平成31年 2月10日(日)

ウ 競技団体等への支援

(ア) 競技団体選手強化事業

国民体育大会に向けての国体候補選手(指導者を含む)を対象とした強化事業に助成した。

(イ) 成年チーム指定強化事業

a 重点チーム強化

国民体育大会において優秀な成績を収めるため、9チームを指定し、その強化事業に助成した。

b 指定チーム強化

成年選手の競技力の維持・向上を目指して、13チームを指定し、その強化事業に助成した。

(ウ) 海外派遣奨励金の交付

日本代表として世界選手権大会等に海外派遣された個人8人・団体1団体に対し、奨励金を交付した。

(エ) 競技団体等主催大会等助成事業

県内で開催された関東大会以上の14大会に対し、運営費の一部を助成した。

(オ) 2020年東京オリンピック選手助成・支援事業

東京オリンピックにおいて選手になる可能性を十分有している本県出身選手15人に対し、東京オリンピックや国民体育大会において活躍を応援するため、競技活動に対し助成した。

認定証交付式 平成30年4月26日(木)

(カ) 山梨県体育協会特別助成事業

国民体育大会での上位入賞を目的に3競技団体に対して強化に係る競技備品購入に対し助成した。

(キ) 練習場確保事業

県立射撃場の整備凍結に伴う競技団体の練習場確保事業に対し助成した。

エ 国民体育大会選手等の選定及び派遣

予選会を実施し、選手の選考を経て、本県選手団を派遣した。

(ア) 第73回国民体育大会関東ブロック大会

中心会期 平成30年 8月17日(金)から19日(日) 茨城県

本部役員10人 監督・選手698人

(イ) 第73回国民体育大会

会期前実施 平成30年 9月 9日(日)から17日(月) 福井県

(水泳・ハンドボール・クレール射撃)

本大会 平成30年 9月29日(土)から10月9日(火) 福井県

<開会式 平成30年 9月29日(土)>

本部役員27人 監督・選手329人

(ウ) 第74回国民体育大会

冬季大会関東ブロック大会

平成30年12月7日(金)から9日(日)(アイスホッケー成年男子) 茨城県

平成30年12月21日(金)から23日(日)(アイスホッケー少年男子) 茨城県
監督・選手37名

冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会

平成31年1月30日(水)から 2月3日(日) 北海道

本部役員8人 監督・選手48人

冬季大会スキー競技会

平成31年2月14日(木)から17日(日) 北海道

本部役員6人 監督・選手28人

(エ) 日本スポーツマスターズ2018への派遣

平成30年 9月 1日(土)から 2日(日)(水泳) 北海道

※水泳競技以外の12競技は、北海道胆振東部地震の影響により中止

オ 医・科学サポート

(ア) 医学的サポート

・国体(含:関東ブロック大会)に参加する選手から提出された健康調査票を基に、メディカルチェックを実施し、選手の健康管理を行った。

・医学的分野について、整形外科的チェックを行った後、指導・助言を実施した。

平成30年5月17日(木) ホッケー少年男子20人

(イ) 科学的サポート

・心理関係、コンディショニング関係について、国体参加競技団体を対象に測定、調査、分析を行い、指導・助言を行った。

平成30年8月 3日(金) トレーナー分野 ホッケー少年男子18人

平成30年9月29日(土) 心理分野 陸上全種別30人

(ウ) 国民体育大会へのスポーツドクターの帯同

・国体参加時にスポーツドクターを帯同させ、選手の緊急医療時の対応やドーピング関係薬物の対応を行った。

5 スポーツ環境の整備

(1)人材の養成

ア 子どものための人材養成

(ア) スポーツ少年団認定員養成講習会

地域における単位団活動の中心的指導者として指導・運営を行う指導者を養成する講習会を開催した。参加者総人数170人

第1回 平成30年 8月18日(土)から19日(日)小瀬スポーツ公園武道館

第2回 平成30年10月13日(土)から14日(日)緑が丘スポーツ公園スポーツ会館

第3回 平成30年12月22日(土)から23日(日)小瀬スポーツ公園武道館

(イ) スポーツ少年団指導者研修会

指導者等の資質向上と指導者相互の連帯を図るため、研修会を開催した。

平成30年12月16日(日) 小瀬スポーツ公園体育館 参加者48人

(エ) スポーツ少年団スポーツ指導者協議会への助成

組織の整備と活動推進のために助成した。

(オ) 関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会

関東ブロック各都県のスポーツ少年団登録指導者の相互の連携と資質・指導力の向上を図り、指導活動の促進方法について協議するとともに、スポーツ少年団活動の推進に資するため研究協議会に4人を派遣した。

平成30年11月3日(土)から4日(日) 千葉県

(カ) スポーツ少年団リーダーの養成

リーダー会の育成や指導者協議会との連携により、将来の指導者を養成するとともに、少年団の円滑な活動の推進を図った。

a ジュニア・リーダースクールの開催

単位団において、団員の模範となって活動する少年リーダーを養成した。

平成30年11月10日(土)から11日(日) 緑が丘スポーツ公園スポーツ会館他
参加団員20人

b シニア・リーダー研修会

中学生以上で、シニア・リーダー資格取得に意欲のある団員を集め、資質向上のための研修を開催した。

平成31年2月16日(土) 小瀬スポーツ公園武道館 参加団員9人

c リーダーの派遣

日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール

平成30年8月9日(木)から 8月13日(月) 静岡県 団員2人

関東ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会

平成30年10月20日(土)から10月21日(日) 栃木県 団員3人 指導者1人
全国スポーツ少年団リーダー連絡会

平成30年6月16日(土)から 6月17日(日) 東京都 団員1人 指導者1人

d 山梨県スポーツ少年団リーダー会への助成

組織の強化充実並びに運営経費に助成した。

イ 生涯スポーツのための人材養成

(ア) スポーツリーダー養成講習会

地域におけるスポーツグループやサークルなどのリーダーとして、基礎的なスポーツ指導や運営にあたることのできる指導者を養成する講習会を開催した。

平成30年5月26日(土)から27日(日) 緑が丘スポーツ公園スポーツ会館
参加者21人

(イ) 公認スポーツ指導員養成講習会

地域において、子ども達や初心者を対象に、競技別の専門的な知識を活かし、個々の指導対象にあわせた指導が可能となる指導者を養成する講習会を開催した。

自転車競技(委託講習会) 参加者7人 ソフトボール(独自講習会) 参加者16人

(ウ) スポーツドクターの確保

医・科学委員会との連携と医師の協力のもと、スポーツドクターの確保のため、日本スポーツ協会開催の要請講習会へ5人の推薦を行った。

(エ) アスレティックトレーナーの確保

医・科学委員会及び競技団体と連携を図り、アスレティックトレーナーの確保のため、日本スポーツ協会開催の要請講習会へ2人の推薦を行った。

(オ) スポーツ指導者研修会の開催

公認スポーツ指導者の資質の向上と活動促進、指導者の連帯感を深めるため、研修会を開催した。総参加者250人

第1回 平成30年6月 9日(土) 小瀬スポーツ公園武道館 参加者158人

第2回 平成30年9月 2日(日) 甲州市勝沼体育館 参加者 25人

第3回 平成31年1月27日(日) 韮崎市民交流センター 参加者 67人

(カ) 山梨県スポーツ指導者協議会への助成

組織の強化充実並びに運営経費に助成した。

(2) スポーツ拠点の充実

ア 地域スポーツの充実

(ア) スポーツ振興ブロック会議

スポーツの振興に関し、各地域の市町村のスポーツ関係者と地域の課題等について意見交換を行い、各地域における連携強化を図った。

中北地区 平成30年 7月 5日(木) 北巨摩合同庁舎 86人

富士・東部地区 平成30年 7月 6日(金) 富士ふれあいセンター 66人

峡東地区 平成30年 7月10日(火) 甲州市民文化会館 54人

峡南地区 平成30年 7月12日(木) 身延総合文化会館 60人

(イ) 山梨県スポーツ推進委員協議会との連携

各地域の県民がスポーツの生活習慣化できるような魅力ある事業を展開し、スポーツ拠点を拡充できるよう、山梨県スポーツ推進委員協議会との連携を図った。

(ウ) 企業・大学との連携

a 民間団体との共催事業を展開することにより、民間の持つノウハウまたはネットワーク等を活用し、各年齢層を対象とした各種事業展開を行った。

b 高齢者の健康体力つくりのために、県下に6つある「山梨ことぶき勸学院」の生徒を対象に、有資格者による運動指導を行った。

イ 総合型地域スポーツクラブの育成・推進

(ア) 広域スポーツセンターの運営

県が設置した広域スポーツセンターを運営し、総合型地域スポーツクラブの創設や運営及びスポーツ活動について効率的に支援するとともに、スポーツクラブ運営の助言及び指導を行った。

広域スポーツセンター運営会議 第1回 平成30年 6月27日(水)

第2回 平成30年10月17日(水)

第3回 平成31年 2月20日(水)

(イ) 総合型地域スポーツクラブの支援・育成

県教育委員会と連携し、日本スポーツ協会クラブアドバイザーとともに県内各市町村を訪問し、総合型地域スポーツクラブの設立依頼や状況把握を行うとともに、スポーツクラブ運営の助言及び指導を行った。

(ウ) やまなし総合型スポーツクラブフェスタ

クラブ相互の交流と認知度アップを図るとともに、広く県民に参加を呼びかけ、スポーツ実施率の向上を促す契機とするため、県内スポーツクラブと連携しフェスティバルを開催した。

平成30年12月15日(土) 緑が丘スポーツ公園体育館 参加者290人

ウ 管理施設の環境の充実

本協会が管理している施設を県民に親しんでもらえるよう、サービスの向上に取り組んだ。また、「見るスポーツ」の機会充実とスポーツへの関心、興味、参加を促すためのプロスポーツ大会の誘致のほか、教育や文化、福祉、産業振興などの幅広い分野での誘致を行った。

さらに、利用者の安全・安心、快適な利用のために、日々の施設の環境整備、備品の点検、AEDの設置や職員の救命救急法の研修などを実施した。

(ア) 管理受託施設

a 小瀬スポーツ公園	平成 30 年度施設利用人数 686,290 人(前年度 732,542 人)
b 富士北麓公園	228,934 人(前年度 222,222 人)
c 緑が丘スポーツ公園	231,575 人(前年度 242,930 人)
d 八ヶ岳スケートセンター	16,737 人(前年度 18,409 人)
e 八代射撃場	2,059 人(前年度 1,974 人)

(イ) 直営施設

a 境川自転車競技場	10,960 人(前年度 10,653 人)
------------	------------------------

(3) スポーツの啓発

ア スポーツ情報発信

(ア) インターネットの活用

- ・インターネットを活用し、管理施設の情報、スポーツ教室やイベントの紹介を行った。
- ・やまなしスポーツ情報ネット内にシステム化されている「スポーツ指導者バンク」の運営を行い、スポーツ指導者の登録、紹介を行った。
- ・やまなしスポーツ情報ネットのスポーツ新着情報や大会情報等の更新を行った。

(イ) 広報誌の活用

- ・情報交換と提供の場として体育協会広報誌「やまなし体協」とスポーツ少年団広報誌「わかば」を発行した。
- ・スポーツ振興事業等の情報提供の場として「やまなし体協スポーツガイド」を発行した。

イ 各種表彰

(ア) 体育協会表彰

体育・スポーツに尽力された者や全国大会及び世界大会に出場し優秀な成績を残した県内選手個人並びに団体、指導者を表彰した。

体育功労者76人 特別優秀選手14人 優秀選手42人・団体11チーム
奨励賞13人・団体2チーム

(イ) スポーツ少年団表彰

永年に亘り、団活動に尽力し、その功績が顕著な指導者5人を表彰した。

(ウ) 候補者の選考・推薦

文部科学省生涯スポーツ功労者、生涯スポーツ優良団体表彰、やまなしスポーツ賞、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者表彰、日本スポーツ少年団顕彰、ミズノメントール賞、日本スポーツグランプリの選考・推薦を行った。

6 国際交流の推進

(1) 競技スポーツ交流

ア 日中スポーツ交流

日中両国政府により実施された2007「日中文化・スポーツ交流年」を契機として、両国の代表団員が互いの国を訪問し、スポーツを中心とした様々な交流を実施した。

山梨県テニス交流事業(派遣) 平成30年10月29日(月)から11月2日(金)

指導者3人 選手17人

(2)東京オリンピック・パラリンピック

山梨県東京オリンピック・パラリンピック推進室及び関係加盟団体と連携し事前合宿等の誘致に向けた業務を推進するとともに、山梨県事前合宿等誘致連絡会議において連絡調整を図った。

7 スポーツ界の透明性、公平・公正性の向上と補償制度の推進

(1)スポーツ界の透明性、公平・公正性の向上

ア ガイドラインの運用

運営の透明性確保等のガバナンス(内部統治機構)の確立に向け、ガイドラインの運用を進めた。

イ アンチ・ドーピングの啓発

(ア) アンチ・ドーピング講習会

薬物乱用、誤用の認識を高め、健全なスポーツ活動を推進するため、講習会を開催した。

第1回 平成30年6月 2日(土) 小瀬スポーツ公園体育館 7競技 15人

第2回 平成30年6月21日(木) 小瀬スポーツ公園武道館 20競技 50人

(イ) 競技別アンチ・ドーピング講習会の開催

選手が多く集まる練習会や合宿に出向き、講習を行った。

平成30年11月19日(月) ハンドボール少年男子、陸上競技少年男女 24人

ウ ハラスメントの撲滅

選手同士また選手と指導者がお互いを信頼してスポーツを行えるように、いじめや暴力・暴言、セクハラ等、これまでの指導方法の中に起こりうるハラスメントについて公認スポーツ指導者及びスポーツ少年団指導者に注意喚起を行った。

エ スポーツにおける暴力行為等相談窓口の設置

スポーツにおける暴力等相談窓口規程に基づき設置している暴力行為・セクハラ等に関する直通電話への相談及び問い合わせに対応した。

オ スポーツ仲裁自動応諾条項の採択の普及

スポーツ関係団体が、スポーツに関するルールの透明性を高め、健全なスポーツの発展に寄与していく組織づくりの機会になるよう、仲裁自動応諾の採択を加盟団体に対して働きかけた。

カ フェアプレイ宣言の推進

スポーツを真に楽しく行う上では欠かせないフェアプレイを推進するため、スポーツ活動のあらゆる場面で協力及び実践の呼びかけを行った。

(2)補償制度の推進

ア スポーツ安全保険の加入促進

関係スポーツ団体に対し、団体活動中に発生する怪我や損害等に備え、安心してスポ

ーツが行えるようスポーツ安全保険への加入を促進した。

イ スポーツ傷害見舞金の給付

スポーツ大会等に参加した選手等で負傷した者に対し、見舞金の給付を行った。

ウ 主催者賠償責任保険の加入

主催事業で損害賠償事故が起きた場合に、補償できる体制を整えるため、主催者賠償責任保険へ継続加入した。

(収益事業等)

Ⅲ 利用環境・効率の向上

1 各種サービス事業

(1) レストラン・売店等の運営

公園来園者に対する飲食等の便宜供与のため、体育館レストラン・売店における飲食の提供、物品の販売を行うとともに、スケート靴等の貸し出しに係る斡旋業務を行いスポーツの普及支援の担い手として事業を展開した。

ア レストランの運営

- ・営業時間 午前11時から午後2時まで(火曜日は休業) ※祝日の場合は営業、翌日休業
- ・販売品目 ラーメン、カレーライス、ジュースなど常時約30品目
- ・営業日数 281日/年(前年度実績 290日/年)
- ・提供食数 10,747食/年(前年度実績 13,119食/年)

イ 売店の運営

イベントや大規模大会等の開催時に売店を開設し、飲食物の販売を行う他、各施設の受付においてスポーツ用具(テニスラケット他)の貸出、テニスボール等の販売など施設利用者のニーズに応えた売店運営を行った。

- ・営業品目 臨時売店:焼きそば、飲料など約10品目

受付販売:バスケットボール等の貸出、テニスボール等の販売

ウ 自動販売機の設置

管理施設内に自動販売機を設置し、清涼飲料水・乳飲料・アイスクリーム及び軽食類などの販売を行った。

- ・自動販売機の設置台数

小瀬スポーツ公園 44台(プール開放期間中は5台追加)

緑が丘スポーツ公園 10台

富士北麓公園 6台

八ヶ岳スケートセンター 4台(11月下旬から2月中旬まで)

境川自転車競技場 2台

八代射撃場 1台

エ スケート靴の斡旋

小瀬アイスアリーナ及び八ヶ岳スケートセンターに於いて、利用者にスケート靴の貸し出し業務を行った。

- ・貸靴種目 フィギュア他3種 約800足

- ・貸靴実績 小瀬アイスアリーナ 個人12,700足/年(前年度実績14,730足/年)
団体 8,894足/年(前年度実績 8,902足/年)

八ヶ岳スケートセンター 個人 3,027足／年(前年度実績 3,439足／年)

団体 6,635足／年(前年度実績 7,118足／年)

オ ジョギングハウスの活用

ウォーキングやジョギングで小瀬スポーツ公園を訪れた方々が、気軽にトレーニングも行えるよう、ジョギングハウス内に容易に扱え安全性が高いトレーニング器具を設置し、小瀬スポーツ公園の利用促進を図った。

カ スポーツ絵画・写真コンクールの開催

スポーツの絵画、写真を通して、スポーツへの関心を高めるとともに、県民のスポーツに対する意識の向上を図った。

キ 施設利用者への還元事業の実施

施設の利用促進と、日頃からの施設利用者に対する還元事業として、各種イベントを企画した。

・クリスマス企画、バレンタイン企画、ホワイトデー企画(利用者へプレゼント配布)

ク 福利厚生事業の支援

職員が安心して働ける職場づくりの推進を図るため、職員互助会の諸事業に対し支援を行った。

2 利用効率の向上

本協会が管理する各施設の利用効率の向上ため、公益目的以外の利用についても、サービスの向上と利用促進に努め施設の有効活用を図った。

理事会議決事項

回数	開催年月日	議決事項
第1回 (通常)	平成30年 6月 5日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成29年度事業報告について 2 平成29年度予算の補正及び決算について 3 平成30年度予算の補正について 4 公益財団法人山梨県体育協会の名称変更について 5 山梨県スポーツ少年団本部長及び副本部長の承認について 6 山梨県体育協会創立90周年記念表彰規程の制定について 7 平成30年度定時評議員会の招集について
第1回 (臨時)	平成30年 6月21日	<ol style="list-style-type: none"> 1 会長、副会長、専務理事の選定について 2 名誉副会長の推挙について
第2回 (通常)	平成30年 8月 2日	<ol style="list-style-type: none"> 1 公益財団法人山梨県体育協会の名称変更について 2 名称変更に伴う規程の変更について 3 公益財団法人山梨県体育協会表彰について 4 山梨県知事等に対する要望について 5 創立90周年記念表彰者等の選考について 6 臨時評議員会の招集について
第2回 (臨時)	平成30年11月 9日	<ol style="list-style-type: none"> 1 創立90周年記念表彰者の追加選考について
第3回 (通常)	平成31年 3月14日	<ol style="list-style-type: none"> 1 経営計画について 2 境川自転車競技場のネーミングライツについて 3 平成31年度事業計画について 4 平成31年度収支予算について 5 平成30年度第3回臨時評議員会の招集について

評議員会議決事項

回数	開催年月日	議決事項
定時	平成30年 6月21日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成29年度事業報告について 2 平成29年度決算について 3 平成30年度予算の補正について 4 役員を選任について 5 評議員を選任について
第1回 (臨時)	平成30年 8月27日	<ol style="list-style-type: none"> 1 公益財団法人山梨県体育協会の名称変更について 2 名称変更に伴う規程の変更について
第2回 (臨時)	平成30年 9月 7日	<ol style="list-style-type: none"> 1 名称変更に伴う定款の変更について
第3回 (臨時)	平成31年 3月22日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成31年度事業計画について 2 平成31年度収支予算について 3 監事を選任について